

NEWS RELEASE

2021年1月4日

三重県松阪市京町510番地
株式会社 第三銀行

2021年「頭取年頭訓示」について

株式会社第三銀行（頭取 岩間 弘）は、別紙の通り頭取より年頭の「訓示」がありましたのでお知らせいたします。

記

○年頭訓示内容

別紙「年頭訓示（要約）」をご参照下さい。

頭取の年頭訓示を全店（96か店）に社内イントラにて、全職員に伝達いたしました。なお、例年、本店で行っている年賀式は、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、開催致しませんでした。

以 上

[お問い合わせ先]

担 当	総合企画部 広報課	須 賀	0598-25-0363
-----	-----------	-----	--------------

キラリと光るあなたの銀行

 第三銀行

 ミツミフィナンシャルグループ

年頭訓示（要約）

皆さん、明けましておめでとうございます。

さて、昨年を振り返ってみますと、言うまでもなくコロナに明け、コロナに暮れた一年であったと言えると思います。

新型コロナウイルスの感染拡大により、東京オリンピックをはじめ、高校野球などのスポーツ大会や様々なイベントが延期や中止に追い込まれたほか、感染拡大防止のために、国民に対しては休業や移動の制限などが求められ、社会生活は大きな影響を受け、経済的なダメージも大きいものとなりました。

その経済的なダメージをカバーするために行われた各種のG・T・Oキャンペーンは、経済の立て直しに効果を発揮したものの、感染の再拡大により中止を余儀なくされ、年末には色々な面で混乱が生じました。

こうした中で、私たち金融機関に対しては、コロナ対策のための資金供給が最優先課題として求められました。皆さんのご努力のおかげで、コロナ対応融資は順調に進み、地域の事業者の皆さまの資金繰りは安定しています。

しかし、事業者の皆さまがコロナ後も安定して事業を続けていくためには、様々な改革が必要になります。将来の有望分野への経営資源の集中、新たな事業分野への進出、M&Aや事業譲渡の検討など、コロナ後に向けて既に動き始めているお客さまもいらっしゃいます。今年、私たち地方銀行が取り組まなければならないのは、こうしたコロナ後に向けた地域の事業者の皆さまの取組みをサポートしていくことです。

昨年は、NTT西日本との「地域活力の創出と地域経済の発展等に関する連携協定」の締結、三重県やREVIC等との「三重県における観光による地域活性化」に関する連携協定の締結、ビジネスマッチングサービス「Biz-Creat e」の取扱い開始など、地域の事業者の皆さまの課題解決や地域活性化に貢献するための体制整備を進めてきました。こうした新たなツールも積極的に活用していただき、事業者の皆さまのコロナ後の新たな日常に対応するための改革をサポートしていただきたいと思います。

一方で、私たち三十三フィナンシャルグループにとっては、第三銀行と三重銀行の合併により、真の意味で地域になくてはならない金融グループとしての地位を確立するための重要な年でもあります。

5月1日に予定している第三銀行と三重銀行の合併に向け、新型コロナウイルスの感染拡大という非常事態の中、皆さんのご努力のおかげで、システム・事務統合作業や営業店リハーサルなど、これまでスケジュールに沿って着実に進めることができました。

これから最終局面となりますが、引続き新型コロナウイルスの感染防止に細心の注意を払いながら、最後までスケジュール通りに進めていただくようお願いいたします。

今年の干支は、十干では「辛（かのと）」、十二支では「丑（うし）」で、辛（かのと）は「植物が枯れ、新しくなろうとしている状態」、丑（うし）は「種から芽が出ようとする状態」を表し、新たな出発の時を示していると言えます。

正に、三十三フィナンシャルグループの役職員の皆さんが一致団結し、新たに「三十三銀行」を誕生させるにふさわしい年です。新型コロナウイルスだけでなく、長引くマイナス金利など厳しい環境にありますが、そうした中で誕生する「三十三銀行」を地域NO.1の銀行にするためのスタートの年として、皆で明るく第一歩を踏み出しましょう。

私も皆さんの先頭に立ち、明るく前向きに、そして全力で取組んでまいります。本年が三十三フィナンシャルグループにとって、大いなる飛躍の年となることを心から祈念いたしまして年頭の挨拶といたします。

以上